キャラクター名	プレイヤー名
シー/シャーリー・ヴェラキッカ	

ポジション	オートマトン	**享年**	11
メインクラス	ロマネスク	**暗示**	幸福
サブクラス	タナトス	**寵愛点**	44

初期配置	煉獄
最大行動値	11

能力値	クラス	修正	合計
武装	1	1	2
変異	0	1	1
改造	3	0	3

記憶のカケラ	内容
太陽の匂い	最果β65/干した布団か、あの子の髪か。顔を埋めたそこは暖かくて、太陽の匂いがして。あなたは幸せな気持ちに浸っていた。けれど今、重い雲で塞がれた空の下。あの優しい香りは、もうどこにも感じられない……。
ナイフ	最果α94/決心と共に、懐へナイフを隠した。あの人を刺し殺すため。己の中の何かに決着をつけるため。決着の結果を覚えていないが、あの日の決意は覚えている。誰を刺そうとしたか忘れても、その覚悟は忘れはしない。
家族	優しいお母さま、大好きなノラ。それがあなたの家族で、あなたが知っている『ヴェラキッカの一族』でした。何故か、ノラとお母さまは仲良くなかった気がするけれど……シーは二人が大好きでした。優しくて幸福な記憶。けれどある日、お母さまはヴェラキッカの屋敷のためにと言って、あなたとノラを置いて行ってしまいました。その後は、ヴェラキッカの屋敷には他の子達が増えました。負けん気のミミィに、お姉さんなソコラータに。楽しいけれど、それから沢山、でもお母さまに帰ってきてほしかった。そんな、記憶です。
お姉様	自分の正しい名前も、彼女の正しい名前も思い出せない。でも、自分はノラの妹でした。ノラはあなたの、母親違いのお姉様でした。ヴェラキッカの養子達ではなく、血を引いた、由緒正しき本物のヴェラキッカの姉妹。何故かはわかりませんが、最初は一緒に住んでいなくて、あなたのお母様が、彼女を呼び寄せて一緒に暮らすのだと言った声を覚えています。『シー、私のかわいい妹さん、あなたに明日、お姉様ができます。いい子にできますか？』あなたはそれが、とても楽しみでした。
欠けた	いたはずの人が、一人ずついなくなっていく記憶。みんなでこの部屋に泊まるようにして、少しでも一緒にいるようにして。でも、いなくなっていったのをあなたは思い出します。いいえ、いいえ、ノラはいました。ノラは変わらず、あなたの側にいたはずでした。当時はそう思っていたはずです。なのに、今では自信がありません。今思い返した光景の中に、ノラがいるような……いないような。

未練

対象	種類	狂気点		発狂時ペナルティ
たからもの	依存	3	①②③④⑤	パーツとして所持。破壊で狂気点+1
ヒナ	嫌悪	3	①②③④⑤	
ミミィノス	恋心	0	①②③④⑤	
ソコラータ	依存	0	①②③④⑤	
		0	①②③④⑤	
		0	①②③④⑤	

マニューバ

タイプ	損傷	名前	使用	タイミング	コスト	射程	効果
ポジション		無茶		オート	効果	自身	コストの代わりに任意の基本パーツ1つ損傷。行動/攻撃/切断判定においてダイスを振りなおして良い。
メインクラス		円舞曲		ラピッド	1	自身	ターン終了まで、あなたを対象とするすべての攻撃判定出目-1
メインクラス		時計仕掛け		オート	無	自身	改造3強化パーツ+1
メインクラス		愛撫		ラピッド	0	0	転倒(行動値□2)
サブクラス		殺劇		オート	無	自身	バトルパートで、同カウント内に他の姉妹が攻撃対象とした敵に攻撃する際、自身の攻撃判定出目+1、ダメージ+1
ポジション		祈り		アクション	0	効果	このマニューバが宣言されたカウントを1として数え始めて5カウント目の終了時に効果が発動。効果発動までの間、自身が狂気点を追加せずパーツを損傷しなければ自身を含む姉妹全員は各自の未練から1つ選んで狂気点を1点減らす。このマニューバは1ターンに1回、残りカウントが5以上でないと宣言できない。
				オート			
頭		のうみそ		オート	無	自身	最大行動値+2
頭		めだま		オート	無	自身	最大行動値+1
頭		あご		アクション	2	0	肉弾攻撃 1
頭		エンバーミング		ジャッジ	2	0	妨害2。1ターンに何度使っても良い。
頭		発勁		ラピッド	0	0	自身には使用不可。移動1
				オート			
腕		こぶし		アクション	2	0	肉弾攻撃 1
腕		うで		ジャッジ	1	0	支援 1
腕		かた		アクション	4	自身	移動 1
				オート			
胴		せぼね		アクション	1	自身	次カウントで使うマニューバ１つのコスト-1
胴		はらわた		オート	無	無	なし
胴		はらわた		オート	無	無	なし
胴		救急箱		オート	無	効果	このパーツが戦闘終了時に破壊されていなければ、自分以外の姉妹の損傷している基本パーツ合計3つを選んで損傷前に戻す。
胴		たからもの		オート			5/手鏡/バトルパート終了時、任意の未練の狂気点-1
胴		たからもの		オート			大きな本の写真/屋敷の外観と思い出せる場所をバックに、赤ん坊を抱いた女性が映る写真。裏面に「……・ヴェラキッカ、ご息女と」というメモ書き。誰なのかはわからないけど、どうしても懐かしくて、どうしても焦がれてしまう。
				オート			
脚		ほね		アクション	3	自身	移動 1
脚		ほね		アクション	3	自身	移動 1
脚		あし		ジャッジ	1	0	妨害 1